

令和7年度彩の国あんしんセーフティネット事業

担当相談員フォローアップ研修

実施日	令和7年10月27日(月)
参加者	38名
説明者・ ロールプレイ実施者	事務局 社会貢献支援員4名(熊木氏、 久保氏、小川氏、江原氏)



社会貢献支援員によるロールプレイの様子

内容
彩の国あんしんセーフティネット事業の相談支援について未経験又は経験が少ない相談員を主な対象として、実際の相談支援での対応や押さえるべきポイントについて演習を通じて理解を深めることを目的とする。 1 事務局説明 セーフティネット事業の流れ (1)相談支援全体の流れ、相談員の役割 (2)訪問前の事前準備と訪問・面談対応 (3)支援策の検討・橋渡し (4)現物給付の流れ (5)見守りから終結、再支援への対応 2 ワーク (1)社協からの初回連絡を想定したワーク 社会貢献支援員によるロールプレイ「社協から初回連絡」 (2)買い物支援を想定したワーク 社会貢献支援員によるロールプレイ「本人宅へ訪問」「買い物支援」 受講生によるロールプレイ「相談者の買い物支援に同行」
参加者の声
・相談支援員が一人で行うものではなく、<u>包括的に支援していくこと</u>や事前にルールを説明することが大切だと感じた。 ・<u>多くの情報を聞き取る必要があると改めて認識</u>するとともに、聞き取り内容をしっかり把握していきたいと思った。 ・疑問に思ったこともグループワークやロールプレイの中で解決することができた。 ・グループワークをすることで大切なポイントを確認できた。社協や社会貢献支援員の関わりを学ぶことができた。 ・初回相談の電話や、来所の時点で聞いておかななくてはならない項目の確認ができた。